

教育目標: ○ 自ら学び、よく考える ○ 進んで協力し、他人を思いやる ○ 心身ともにたくましく、最後までやりぬく

めざす学校像: ○ 生徒が主体的に学び活動する学校 ○ 教職員が協働して教育活動を創造していく学校 ○ 保護者や地域社会から信頼される学校

めざす児童・生徒像: ○ 自分の夢に向かって意欲的に学ぶ生徒 ○ 他人のために労を惜しまない心豊かな生徒 ○ 強い意志と自信をもち、たくましく生きる生徒

めざす教師像: ○ 教育に対する熱意と使命感に富む教師 ○ 一人一人の良さや可能性を引き出せる教師 ○ 研修意欲に富み互いを高め合う教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	分析コメント	改善策
笑顔と誇り	互いに認め合い、高め合い、学びあうことで、思いやりと豊かな心を育み、ひとり一人が居場所と感じ、安心して成長できる集団を育成する。	自己肯定感を育て、居心地感を高めることで以下の改善を図る。 ①いじめ、不登校 ②多様性を認め合える集団作り ③「分三魂(誇り・団結・克服)」 ④心身の健康	教育相談機能の強化と、一人一人の自尊感情を高めるコンプリメントを推進する。	3	4	1	2	関係調査項目の平均高評価が <b>74.2%</b> (前回69.7%)に向上しているが目標未達成である。教育相談的対応も順調ではあるが、未だ自尊感情の高まりには至っていない。	引き続きコンプリメントに基づく指導を継続する。達成感や充実感を体感できる活動を推進する。
			面談や毎学期のアセスメントを通して困り感に寄り添い、丁寧に対応する。	-	4	4	4	三者面談やアセスメント、不登校校長面談等を通して生徒理解や支援を行っている。不登校や気になる生徒への支援を全校体制で実施できおり、 <b>92%</b> (前回93.8%)の高評価であった。	いじめ、不登校の原因となる人間関係、そして基礎学力も含めた個々の困り感に寄り添う指導を継続していく。
			学校行事や生徒会活動、部活動を充実させ、異年齢交流や多様性を認める活動を推進する。	-	3	4	4	生徒会活動も充実してきており、学校行事も感染対策を講じながら全て実施できた。異年齢交流は、感染症予防のために十分ではないが、 <b>96.7%</b> (前回88.9%)。	感染対策を講じて学校行事を全校開催したり、生徒会活動、部活動での異年齢交流を進めていく。
確かで豊かな学力	分かる授業、興味・関心のわく授業の実現に努め、確かで豊かな学力の定着を図る。	基礎学力の充実に加え、協働的な学びやICTを活用した学びにより、主体的な学習者を育成する。	ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりと補習教室等での個に応じた指導を行う。	3	4	4	4	生徒からは <b>90.9%</b> (前回91%)の高評価であり、丁寧な学習指導が進められている。定期考査前や夏季休業中には個別指導も実施した。	保護者高評価が65.3%と低い。基礎基本の充実に重点を置きつつ、個別最適な学びと協働的な学びをバランスよく指導し、主体的学習者育成を目指す。
			ICTや言語活動を活用し、思考力・判断力・表現力の伸長と知識だけでなく学力を育成する。	3	4	4	4	生徒 <b>84.9%</b> (前回81.6%)の高評価であった。ICTの活用に適した授業内容とそうでないものが確認できた。言語活動の推進は順調である。	ある程度ICTに慣れ、他の指導法との効果的な組み合わせを模索する必要が出てきた。また、生徒の活用の幅を広げるような授業展開が課題である。
未来へ開かれた教育活動	地域や多様な教育資源を活用し、生徒の社会貢献や奉仕への意識を高める。	自校でのESD(SDGs)推進を行い、校区へも広げる。保護者や外部人材を活用した多様な教育活動を工夫し、主体的に他者や地域・社会へ貢献する態度を育成する。	防災を中心とした地域連携を推進し、生徒の社会貢献への意識を高める。	-	3	-	3	年間を通して地域防災会との連携を深めた。生徒有志が地域のウォールアート作成に参加した。教職員の連携意識はコロナ禍で低調である。避難訓練等は予定通り実施。	「国分寺学」につながるような行動を促していく。
			外部人材との協働や、異文化理解を深める取り組みを実施する。	-	3	-	3	2年生が2学期に職業講話、1年生が3学期に留学生交流を実施し、多様性や異なる価値観に触れる機会を設けられた。	感染状況を踏まえながら、職場体験や異文化理解等を推進していく。
			学校だより等やブログでの積極的な情報発信を行う。	-	4	-	4	1月末現在250回以上と目標を大きく上回るブログ発信をしており、保護者からの評価も高い。コロナ禍にあって、生徒の様子を知る有効な伝達手段となっている。	保護者の高評価97.6%を維持できるよう引き続き学校の様子を伝える努力をしていく。